

教科（科目）	美術	学年（系）	3年
使用教科書	美術2・3（光村図書）		
副教材等			

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 指導の重点

一人ひとりの知識、経験を形にした作品制作を目指す。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	文字のデザイン	・練習プリント ・レタリング辞典	・プリントを使ってレタリングを練習する。 ・漢字の意味を元にアイデアを練る。 ・文字とイラストが融合したデザインを考案する。 ・完成したデザインに絵具で色を塗る。	15	・作品を提出。 (知識理解 / 技能 / 創意工夫)
5					
6					
7					
9					
10	貼り絵	・和風の型紙 ・和柄の色紙 ・折り紙	・全体の構成をスケッチする。 ・型紙と素材を重ねてカッターナイフで切り抜いて材料を作る。 ・スケッチを元に材料を貼り付けて構成する。	10	・作品を提出。 (知識理解 / 技能 / 創意工夫)
11					
12					
1	版画 「多色刷り」	・型紙 ・版画版	・型紙を参考にして多色刷りの仕組みを理解する。 ・複数の版を彫刻刀で彫る。 ・重ね刷りを試行錯誤し、美しい作品を仕上げる。	10	・作品を提出。 (知識理解 / 技能 / 創意工夫)
2					
3					

計 35 時間(48分授業)

4 課題・提出物等

授業で制作した物、指示があった物は必ず提出してください。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<評定> 各観点の合計点達成率 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
以上の観点 ・授業の態度 ・作品作りの進度 ・授業ごとの提出物 ・忘れ物 ・練習課題をもとに評価する。 ・作品をもとに評価する。 ・作品のデザイン ・作る上での丁寧さや工夫 を踏まえ、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

多様な物事に興味を持ちましょう。それが表現の材料になります。